

品質上々

梅収穫始まる

町内では、5月27日の鶯宿おうしゆく梅の集出荷を皮切りに6月には南高梅の集出荷が最盛期を迎えました。

現在、梅の栽培面積は120ヘクタール、栽培農家数は230戸で今年は、作柄もよく遅霜の影響を受けた昨年の倍以上の、約800tの収量を見込んでいます。

約300本の梅を栽培している椎原信二さんの梅園では、椎原さんが「出来も上々」という一生懸命育てた南高梅の青梅を一つ一つ丁寧に収穫していました。

なお昨年よりさつま農協扱いとなっている青果用青梅は、6月3日から15日まで約88tが東京市場や福岡市場などに出荷されました。

完熟梅は7月上旬まで集荷作業をおこない、その後漬け込み作業をおこないます。また、7月下旬より天日干しも始まる予定となっています。

「防災意識を持って！」

県総合防災訓練

5月28日、宮之城町船木の宮之城運動公園で地震やがけ崩れなど災害発生の際、防災関係機関が相互に連携しながら情報伝達や避難誘導などをおこなう県総合防災訓練が実施されました。

当日は、震度5強の大規模地震が発生したという想定で、家屋等からの救出訓練、消火訓練、情報収集訓練、避難誘導訓練などがおこなわれ、県防災ヘリコプターや哨戒機など航空機6機、消防車など車両約100台、人員約1,200名が参加しました。

訓練は約4時間、33種目がおこなわれ本町からも町消防団が堤防決壊防止のための「築廻し工法」を訓練しました。



▲町消防団「築廻し工法」訓練の様子



▲青梅の収穫作業をおこなう椎原信二さん（北方町）

表紙の説明

狩宿産直米田植え交流会

生産者と消費者の顔の見える農業を目的とした狩宿産直米生産グループとコープがごしまによる田植え交流会が、6月15日上狩宿の田中稔さんの水田で開催されました。

交流会は今年で7回目。川内市近郊の40名が家族連れで参加しました。

当日は晴天にも恵まれ、早速みんなで一列になり地元の方の指導を受けながら田植綱を使った田植えをお

こないました。

また田植え終了後は下狩宿公民館に、狩宿産ヒノヒカリで作ったおにぎりが用意され、みんな一緒に楽しい昼食となりました。

産直グループの新屋敷浩さんは、「生産者も一生懸命がんばっています。今後

も消費者に喜ばれるものを作っていきたい。」また川内市から参加した岩下右京君（10歳）は「田植えをしたのは初めてです。最初は苗が曲がったけど、きれいに植えられて良かった。」と感想を話していました。

中津川小五年 富森詳平君

モトクロス

自転車こわれ

こげないよ

中津川小五年 半崎慶彦君

こうへい君

初めて話した

一日目

中津川小五年 山崎友尋君

親ばなれ

さびしいけれど

がんばろう

中津川小五年押川由里奈さん

友達と

仲良くお泊り

よかったよ

中津川小五年 段 絵理さん

初体験

楽しく学んだ

三日間

中津川小五年 三原 茜さん

楽しかった

あのときの思い出

なつかしい